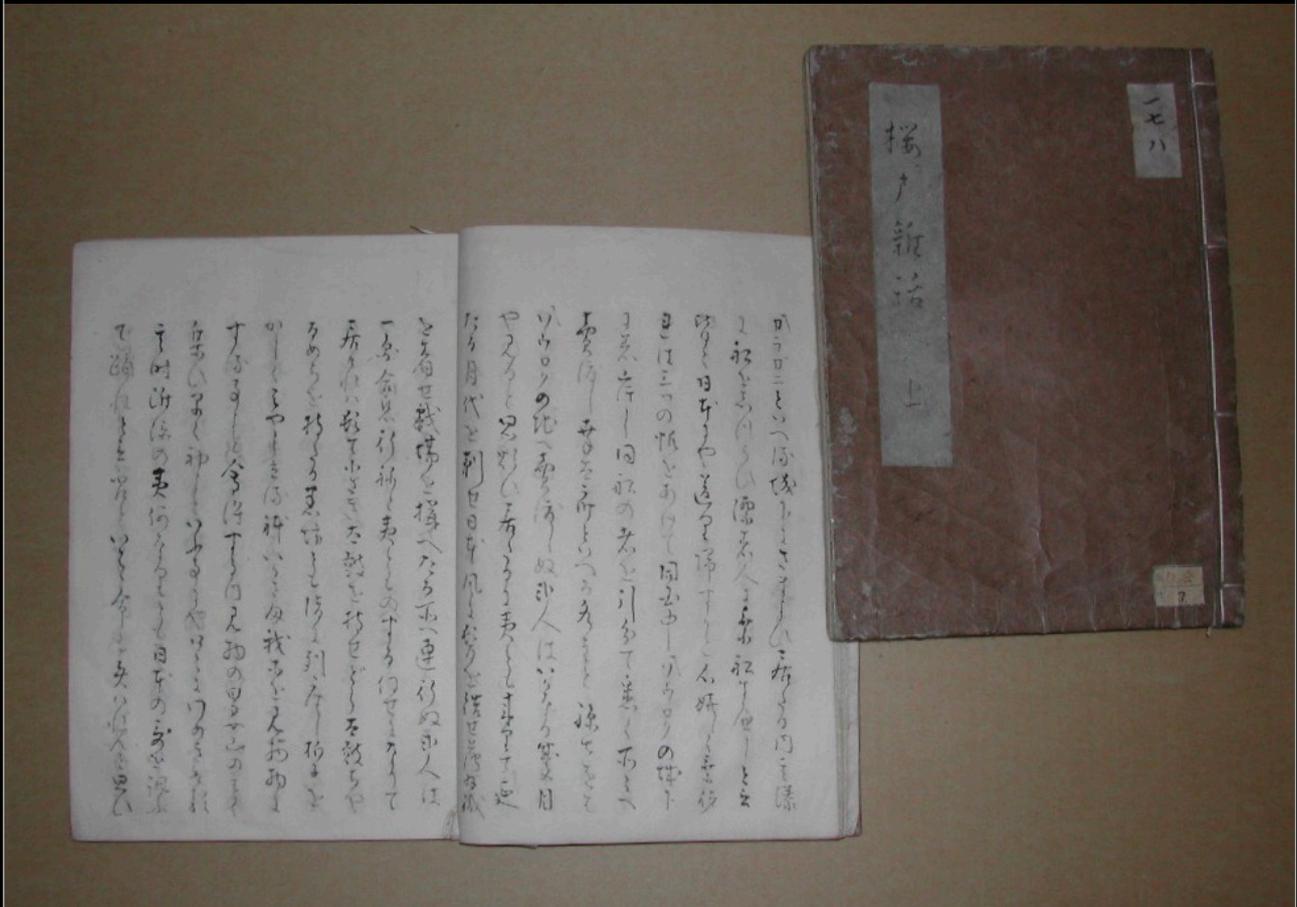


桜戸雑話

サクラドザツワ



指定日：平成4年(1992)3月23日 種別：古文書

西宮の町人であった坂倉九臯信明（宝暦9年〔1759〕～天保7年〔1836〕）が、記憶するところの見聞を、文政13年（1830）に3巻にまとめたもので、成稿本2冊と草稿本3冊から構成される。成稿本は上・下巻のみで中巻を欠くが、草稿本は上・中・下巻が残っている。両本に配列などの異同はあるが、内容はほぼ同じであり、全容を知ることができる。題は隠棲した庵の名桜戸をとった。